

⑤ ムラマツエリコ、なかがわみどり 著

『ポルトガル 朝、昼、晩。』

(メディアファクトリー)

『エジプトがすきだから』でデビューしたこのコンビの旅の本の新刊です。今回選んだ旅先は、ヨーロッパの西の果て、ポルトガル南部の小さな街です。エジプトでは怒りを炸裂させていたこのふたりも、ポルトガルではずいぶん穏やかです。

暮らすように旅したアレンテージョ地方での2週間を、写真とイラストで綴っています。堅苦しい本ではないので気楽に読めて、ポルトガルに行ってみたいなあという気分させてくれる一冊です。

293.69-Nak (Y.N.)



⑥ 秋葉利治、浦部茂夫 編著

『ホームステイこれで安心完全マニュアル』

(東京書籍)

ホームステイの魅力と心構え、学校で使う英会話、ホームステイ先で使う英会話、日本文化の紹介、ホストファミリーへの手紙の書き方、インターネットを駆使した情報収集、知っていると必ず役に立つ単語と表現など、ホームステイに必要な情報のすべてがこの1冊に集約されています。

ですからホームステイの準備から帰国まで、この1冊を読めば、ばっちり対応できるのでもう安心です。

377.6-Aki (S.S.)

⑦ レスリー・フィードラー 著

川地美子 訳

『シェイクスピアにおける異人』

(みすず書房)

人種が違う、習慣が違う、話す言語が違う、信じる宗教が違う……。生きていく様々な局面で私たちは他者の中に自分とは異なる部分を見だし、その固定観念や先入観に囚われて相手の全てを見てしまいがちです。本書はシェイクスピアにとっての「異人 (Stranger)」、女性・黒人・新世界の原住民・ユダヤ人が作品の中心に据えられて生じる心理的緊張を解明し、そこに隠された偏見を読み解きつつ、同時に私たちが今日抱えている感覚もまたあぶり出していきます。

932-Fie (N.T.)



⑧ 辛島 昇 文 大村 次郷 写真

『海のシルクロード』

～中国・泉州からイスタンブールまで』

(集英社)

海のシルクロードは、北側のステップルート(草原の道)と共に、南の海上ルートにおける東アジアを結んでいた交通路として知られ、中国・泉州からマラッカ海峡、インドを中継して紅海～地中海に至る壮大な航路を描き、アジアにおける新しい時代の到来を告げるものでした。

本書は豊富な写真によって、海のシルクロードの各中継点の特産物を初め、人々の生活、風俗などを紹介し、また、さまざまなドラマが展開されてきた足跡を偲ばせています。

292.09-Kar (T.K.)